

久が原地区管内		男	12,525人
		女	12,223人
		計	24,748人
		世帯	10,130世帯

1月1日現在(住民基本台帳による)

くがはら

発行：わがまち大田久が原地区
推進委員会

編集：地域情報紙「くがはら」
編集委員会

事務局：大田区久が原特別出張所
〒146大田区久が原2-19-3
☎(3752)4271

年の瀬になると、街や家々から響いてきたもちつき音。今では、全く聞かれなくなり、行事の一つとして復活させ、子供達に体験させたいとの地域の人の願いが振興し、PTAと協賛で実現しました。以来、



よい子のもちつき
久原小 冬の子供会「もちつき大会」
松仙小 お正月子供会「もちつき」

賀正

皆さん新年明けましてお目出度うございます。皆様方にはご一家お揃いで良き新年をお迎えになられたことと存じお慶び申し上げます。

昨年広報紙「くがはら」の第1号が発行されました。この広報紙は久が原の歴史や毎日の出来事まで、幅広いニュースをお届けしているものであります。編集委員のご

久原・松仙小学校では、一月の日曜日、子供達を集め、せいろから立ち上る湯気と芳ばしい香りを漂わせ、杵のもちつき快音を校庭いっぱい響かせています。

今年十三日久原小で行なわれ、二十日松仙小で行なわれました。

出世観音由来記

久が原はその昔、江戸郊外の農村地帯で、風光明媚な地域でありました。

築地の料亭「喜楽」はその別荘をこの地に設け、明治初年中央の高官や有名人が休養を兼ねて来遊したといわれます。

明治の元勳、伊藤博文公もひいきにされ、度々訪ねられたといわれております。

「喜楽」の女将、伊藤さんさんは、伊藤公の来遊を心から歓迎し、手厚くもてなしたと伝えられております。

その後、伊藤公は朝鮮総監となり、その赴任中に、ハルビン駅頭で暗殺されたと言われています。

女将はその死を大変悲しまれ、生前の恩顧にこたえ、その冥福をひたすら祈るため、かねてから信仰していた如意輪観世音を、吉野の本山から勧進して移し、屋敷内に建立して、信仰の功德をひろめました。そのため、近隣の有志が参詣して参詣し、いっそう繁盛したといわれています。

その後、「喜楽」も時代の推移で代替りし、女中頭の木村さくさんに託し、木村さんは引きつづき観世音を信仰し料亭を「新喜楽」と改称しました。

苦勞と住民の皆様方のご協力に對し感謝申し上げる次第でございます。

私達の生活しているまちが平和であることは、住民の等しく願うところであり、先般新聞報道などによる空家から発射された迫撃砲は人の出入りに付近の人達が気付かなかつたのかと思ふとき、いかに近所つきあひと申しますか、隣人愛による人の和とい



うものが大切であることを痛感いたしました。

平成も三年目を迎えました。久が原が益々平和で住みよいまちになるよう皆様と手を取り合せて、心の輪を拡げて参りたいと存じます。

どうぞ、本年もよろしくお願ひ申し上げまして年頭のご挨拶といたします。

その後料亭は戦災に遇い焼失しましたが、観世音は堂守の村井さんにより守られ、戦後、ひっそりとした状況から、土地は野村証券の保有するところとなり、理理解ある計らいにより観世音は現地に確保されたといわれております。勿論、そのまま村井さんが堂守として世話をづけ、これを機会に、二人の女将の信仰による徳をたたえる意味で、観世音を「出世観音」と改称して広く地域に広めて参りました。ちなみに近くのバス停も、従来「庄仙」といわれたものを、バス会社への申し立てにより「出世観音前」と改称して現在に至っているわけで、文字通り久が原の地域案内の役割を果たしているといえます。

五月のさし芽から始まり十一月の観菊会迄、一日たりとも気の休めない日々が続きます。台風の時は夜も眠れませんが、この一日の行事ですべてが報われます。

観菊される人々も年々増え皆さんに喜ばれています。

自由に観菊出来ますので、今年も多くの皆さんのご参観をお待ちしております。

「菊づくりのイロハが分らなかつた私たちも「さし芽」「芽つみ」等々専門用語も身につけ、花の種類も覚えることが出来ました。そして秋には見事に花を咲かせることが出来ました。

「菊づくりのイロハが分らなかつた私たちも「さし芽」「芽つみ」等々専門用語も身につけ、花の種類も覚えることが出来ました。そして秋には見事に花を咲かせることが出来ました。

「菊づくりのイロハが分らなかつた私たちも「さし芽」「芽つみ」等々専門用語も身につけ、花の種類も覚えることが出来ました。そして秋には見事に花を咲かせることが出来ました。

歴史ある十中観菊会

環境美化委員長 小原 美恵子

二十七年という歴史をもつ十中の「観菊会」。今年も厳しい冬・猛暑の夏をみごとに乗り越え、すばらしい花を咲かせてくれました。

思わず「ありがとう。」と声をかけてしまったほど、赤白、黄色等々香しく咲き薫ってくれました。

「菊づくり、菊見る時はかげの人」の句がありますが、素人の私たちが、指導して下さる小川様と先生を中心に育ててまいりました。

一番むずかしいとされている菊づくり。

「菊づくりのイロハが分らなかつた私たちも「さし芽」「芽つみ」等々専門用語も身につけ、花の種類も覚えることが出来ました。そして秋には見事に花を咲かせることが出来ました。

見事に咲いた菊と共に

青少対ハイキング



さあ、もうすぐ頂上だ

秋晴れの十一月二十五日、青少年対策久が原地区委員会主催によるハイキングが行われました。四歳から七十五歳まで総勢七十五名が朝七時三十分、久が原駅前集合、「高尾山」に向かいました。今秋は、暖かい日が多く、紅葉が遅れているようですが、それも終着駅の「高尾山口駅」付近では、ウルシやカエデに秋の色が少しづつ加わって来ました。さあ、これからハイキングの始まりです。山頂までは約二時間の道のりです。最初はなだらかな道も、次第に険しくなり、参加者の額には、汗がにじんできました。あたりは次第に紅葉の色を増し、秋を十分感じさせてくれました。十二時を少し過ぎた頃、山頂に着きました。そこには、たくさんのハイカーが、お弁当を広げていました。やっとの思いで場所を探しめいめい手作りのお弁当が舌鼓。この味がまた格別です。一同大満足し、帰路に一人の事故もなく、無事ハイキングを終えることが出来ました。

わがまらの旅行会

西自治会

西自治会婦人部では、春秋バス旅行を実施しています。十一月二十九日は季節外れの台風の影響で雨の中出発。東京都葛西臨海水族園では、マグロが群泳する大水槽や、世界七つの海の魚達がとりどりに色鮮やかに舞い泳ぐ様に、感嘆の声しきりでした。江戸の昔から庶民の憩いの場である浅草では、昼食に舌鼓をうち観音様に参詣、雨にけぶる墨田川くだりの水上バスに乗船、かつての無残な汚染から浄化もすすみ、両岸には江戸情緒を今も残している歴史やエピソードを持つ、橋々をくぐり、浜離宮に到着。広大な園内に、將軍家の鷹狩りの場であった往時の面影をしのびつつ散策、雨中ながら楽しい一日を過ごしました。



西自治会の皆さん

南自治会

晩秋の一日を甲州路に紅葉を訪ね、笛吹川を逆上って、渓谷美と信玄公の隠し湯を楽しみ、さらに恵林寺からワイン工場まで足をのびしてバスの旅を楽しんでみませんか。というご案内に対して約八十名の方が参加されました。十一月二十一日、夜来の雨がすっきり上がって、雪化粧をした富士山がすっきりと見

みどり会とゴルフ

えた時には、バスの中に歓声が上がりました。山裾も見事に彩られ、まさしく日本の秋そのものでした。昼食の後、川瀬温泉の野天風呂も旅の味わいを深めたようですが、今回の旅の全行程を通して、素晴らしい紅葉が一番せいたく自然からの贈り物でした。

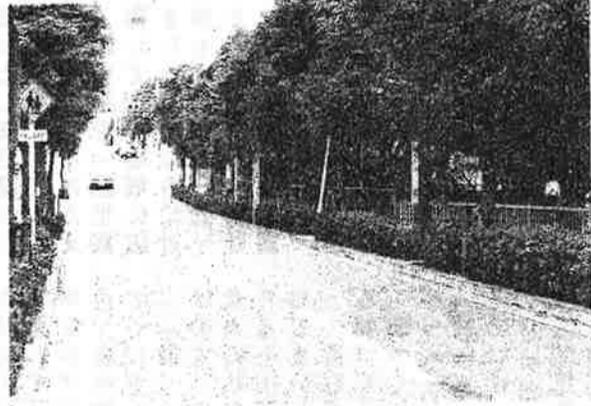
回を重ねて平成二年十一月で、第百三十五回を迎えた「みどり会」ゴルフコンペを千葉県の市原市、八幡ゴルフ場で行いました。現在の会員数は三十五名を数えるまでになりました。遊びの会としては非常に長く続いております。商店会の先輩とゴルフをすることで、コミュニケーションができて、信頼が生まれ体づくりが出来て愉快になります。



今日の調子はどうかな？

当初は久が原銀座商店会のゴルフ会であったみどり会も今では町中のみどり会として親しまれています。昭和四十二年頃発足してから隔月で開催しているコンペは二十二年六か月を過ぎました。緑のジュエータンが敷き詰められた中で、汗をかきかき競技することで人の輪と大きな心を結ぶふれあいの場となり、今では、商店街の活性化の一端を担った町内会のコミュニティシヨンの広場として活動しています。今後はより多くの皆様の参加を期待しております。

久が原の道



「ここは本当にええとこじゃねー。道は広いし、気持ちええ。」
東京に来て四十年以上も経ったのに九州生まれの父は、まだ九州なまりが抜けきれず、外に出る度にいつもそう言っていました。
昭和三十四年大森・田園調布とさんざん家を探した末に

道路が見通せて、すぐ見つけ出すことが出来たことです。面白いことに、父は在職期間中会社の車で通勤していた。故か車に乗ると、真つすぐに行って左に曲がって、と後から移って来た私に突如的確に道を指示してくれました。散歩の途中、塀からこぼれ出るように咲いている花を立ち止まって見上げながら「この花は何という花じゃ？」とすぐ忘れるくせに訊ねていた父。それはもしかして歩き疲れて休みたいのを娘に悟られまいとしてのポーズだったのかもしれない。父が亡くなってもうすぐ七回忌を迎えます。相続のために土地を手放すお宅が増え、私共も多分にもれず、指揮者の山田一雄氏から譲り受けたモダン過ぎて少し住み難かった家も取り壊しました。住む人は代わり家は建て替わっても、久が原の道は相変わらず東西に南北に正しく河のようにのびて、私共を暖かく見守ってくれるでしょう。 F・I

道が良いからという理由で、久が原に移ってきて、昭和六十年暮れに亡くなるまで、父はこよなく久が原を愛していました。その父も八十五歳を過ぎた頃から時々近所を徘徊し始め、私共をハラハラさせました。ただ、よかつたことは母や夫達と探し回って、も久が原を歩いている限りは

金)をすることができません。そのためには契約日(買った日)を含めて八日以内に、販売会社などに解約通知を出さなければなりません。羽毛ふとんは高額な商品です。品質や価格などをよく確かめた上で契約したいものです。ご相談は大田区生活センターへ(☎373610123)

編集後記

新年おめでとうございます。昨年は、ご即位の大礼をはじめ内外共に多岐な一年でした。地域情報紙「くがはら」もおかげをもちまして、ここに第三号をお届けすることができました。これから、地域のニュースをたくさん盛り込んで、皆様方に親しんでいただきますよう編集員一同願っています。(かわまた)

羽毛ふとんのお勧め
。羽毛ふとんは保温、透湿に優れ、軽くて長持ちがするの。消費者に人気があります。このため店舗販売ばかりでなく、催販商法(タダで品物を配り、会場に人を集めて売る商法)や照会販売などの訪問販売でも売られています。訪問販売で羽毛ふとんを買い、あとになってやめたいと思つたとき、消費者はクーリング・オフで解約(返品・返